



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.15  
六甲山と環境教育/  
岩木啓子  
2004年6月発行

## 第15回テーマ：六甲山と環境教育



記念碑台広場で体験学習

～フィールドとしての  
六甲山の可能性を考えよう～

### 講演内容

- 環境教育って何だっけ？
- 環境教育の考え方
- 体験学習を体験してみよう！
- 体験学習について

実施日：平成16年6月19日(土)



講師：岩木 啓子さん

### プロフィール

1956年12月生まれ  
1979年お茶の水女子大  
学家政学部食物学科卒業。  
生活協同組合コープこうべ  
で組合員活動支援の企画業  
務に従事。現在、ライフデザ  
イン研究所FLAP代表。

### 環境教育に触れるいい機会になった

台風6号が接近し、野外活動の実施を危ぶみましたが、運良く晴天に恵まれました。今回は六甲山上での環境教育を考え、短時間でもワークショップを体験するという、当会では初めての試みです。神戸市内の小・中学校や行政機関などで総合的な学習や環境教育に携わっている方々にも参加を呼びかけました。約30名の参加者が集まって、密度の濃い体験をしていただきました。

### 環境教育は問題解決の学習だ

岩木啓子さんは、参加・参画・体験の支援を専門とされています。環境とは「つながり、循環、バランス」であり、「人間が生きていく条件として考える」ことで、「切り口は自然よりも、まちや生活が主体です」と紹介されました。

また、「環境教育は問題解決学習で、解決策を考え、行動変容につながる学びである」と核心を語られました。そして、環境教育の現状を懸念して「価値・意味とらえ直し型」を強調され、体験的に学ぶことを端的に説明されました。

### 記念碑台でちょっと体験学習

2時間半という短時間の中でしたが、記念碑台広場に出て「探検！発見！六甲山」という体験学習も行いました。中高齢者も多かったためか、鈍った感性を研ぎながら、普段目に見えないものや体感できないものを困惑しつつ再発見しました。

各自各様に体験したことを交流しながら、さらに理解を深めて、「わかったことを日常に生かす」思いを強めました。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館  
灘区役所 神戸市教育委員会

### スタートは大成功！継続して進めたい

六甲山上での環境教育の実践に向けて、継続して集まりを持つことを問いかけた結果、全員が参加または検討すると回答されました。

岩木さんの見事なサポートで、環境教育を体験的に学ぶことができ、皆さんの参画意欲が高まりました。これをきっかけにして、活動の輪を広げてネットワークを築く可能性を膨らませました。

詳しくは1～2ページをお読みください。

### 参加の感想 三村 栄三郎さん

環境教育という高いレベルのテーマに短時間で全員が参画できるようにされていました。自己紹介を兼ね、誕生日の順番に任意？に並び、なごやかな雰囲気づくりからスムーズに本題に入りました。



環境問題を解決する3つのE（技術、規制、教育）は、時代において対応策も大きく変化して行くものである事は理解できました。

五感の違いを示す「探検！発見！六甲山」では参加者それぞれの感性の違いが明確となり、問題の正解となるものは無いが、それぞれが正解であり、環境教育も押し付けで無く体験学習で理解度を高める事が必要です。

美しい地球を守る為には、一人一人が日常生活から見直すことが重要なことを再認識いたしました。

### 【助成金をいただいている機関】

生活復興県民ネット・地域活動推進講座、灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金